

2014年度第3回執行理事会議事録

期 日：2014年8月30日（土）13:00～17:30

場 所：地質学会事務局

出席者：井龍会長 山本副会長 渡部副会長（13:50
退出）齋藤常務理事 ウォリス 緒方 杉田
竹内 中澤 平田 廣木 星 保柳 松田 山
路

オブザーバー 川辺文久理事（16:00～）
（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：海野（井龍） 坂口

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者15名，委
任状 2名，合計17名の出席。

*前回議事録の承認

I 審議事項

1. 理事の辞任及び後任理事選任にかかわる臨時総会
開催の件（斎藤）

- ・石渡理事，高木理事からは辞任届が提出されている。
後任予定の市川八州夫代議員，小宮 剛代議員から
は事前承諾済み。
- ・後任が決まるまでの辞任理事の権利義務について検
討し，認識共有をはかった。辞任にかかわるルール
について今後詳しく検討する必要あり。

2. 運営規則の改正について（緒方）

- ・退会に関して，第5条の6項を追加する。
 - ・会費滞納と除籍について，第7条4項4号の文言を
修正する。
- これら2つの改正案を9月理事会に提出する。

3. 広島土砂災害に関する対応に関して

地質学的な知見，データ等をきちんと社会に提供
するように本学会は努力することを確認した。今回
の災害については，井龍会長リードで適当な会員に
協力を依頼する。

4. 2015年度総会開催候補日，第3回理事会の開催候
補日について

総会候補日を2015年5月23日（土），第3回理事会
候補日を2014年12月6日（土）にする。総会開催日
は理事会にて決定する。

5. 高校地学をめぐる最近の動向（廣木）

地学教育について，川辺文久理事にも参加してい
ただき，広く議論した。本学会として地学教育にど
のように貢献するか，本学会の体制をどうするか等
について今後議論を継続する。地学教育委員会の再
構成も今後検討する。

6. その他

II 報告事項

1. 全体的報告（メール審議確認）

*なお，パブリックコメントについては締め切り後に
必ずその回答が公表されるので，随時チェックする。

1) 「一般公開行事実施の際の警報等発令時及び地震発
生時の対応指針」の策定

2) 地震調査研究推進本部による「地震に関する総合
的な調査観測計画について～東日本大震災を踏まえ
て 案」に対し，各専門部会の意見も聴取し，7/16
にパブリックコメントを提出した。

3) 文部科学省の「研究活動における不正行為への対
応等に関するガイドライン案」に対し7/29にパブリ
ックコメントを提出した。

4) 原子力規制委員会より，「九州電力株式会社川内原
子力発電所1号炉及び2号炉の発電用原子炉設置変
更許可申請書に関する審査書案に対する科学的・技
術的意見」募集にたいし，8月14日にパブリックコ
メントを提出した。

5) 各県の石（岩石・鉱物・化石）に関して，一般か
ら募集することを含めて8月11日プレスリリースを
行った。会員および一般市民にアンケートを呼びか
けた。毎日新聞が8/14に掲載，共同通信から問い合
わせ，石材の雑誌に掲載したいとの話などがあつた。
本日までに 160件の応募があり，うち鹿児島県は6
件であつた。

6) 自然史学会連合より「著しく高い生物多様性を擁
する大浦湾の埋め立についての要望書」への連名の
諾否について検討し，純粋に自然科学的な要望書で
はあるが，生態系保護のために埋め立て反対を主張
したいという論理であり，埋め立に関わる国内情勢
および外交関係を勘案すると政治性が高いと判断し，
連名を辞退することとした。

その後，自然史学会連合においても同要望書につ
いて再検討のうえ提出をしないことになったことが
報告された。

2. 運営財政部会：総務委員会（緒方）

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

1. 山陰海岸ジオパーク国際学術会議「湯村会議」
（10/25-26）の後援を承諾。

2. 子供のためのジオカーニバル同企画委員会より（代
表者 廣木義久）より第15回子供のためのジオカー
ニバル（11/1-2，大阪市）の後援依頼があり，承
諾した。

3. 山田科学振興財団より，2014年度の研究援助とし
て3件推薦のうち，武藤潤会員が採択された（150
万円）。研究主題「不均質岩石レオロジーを考慮した
東北沖地震後の地殻変動解析」

<その他>

1. （公財）深田地質研究所の理事長交代挨拶：新理事
長 滝口志郎

2. （公社）日本アイソトープ協会新役員の選任挨拶：
理事長 有馬朗人交代なし

<会員>

1. 今月の入会者（8名）
正会員〔5名〕：小田島庸浩，樋口明良，中野真帆，中村 徹，石原由賀
正（院割）会員〔3名〕：桐生和樹，羽田裕貴，貞包健良
2. 今月の退会者（正会員 3名）外園雄一，加藤有沙，恵口 響
3. 今月の逝去者：なし
4. 2014年8月末日会員数
賛助：27 名誉：65 正会員：3820 正会員：3638 正（院割）会員：167 正（学部割）会員：15 合計3912（昨年比-67）

<会計>

8/6に運営財政部会として今年度財政状況ほかの検討を行った。

1. 8/6今年度財政状況，特に旅費交通費について検討
今の状況から今年度は大幅な赤字見込み。旅費交通費の増加対策として，来年度から執行理事会の開催数，開催の仕方など，根本的な見直しも必要。
2. 科研費（研究成果公開発表B）の会計上の扱いについて
これまでは普及事業として，科研費も込みで決算をしていたが，今年度からは科研費を別枠にして決算報告する。
3. 来年度の雑誌代について
これまで消費税込で1700円，今年度8%に上昇時にも転嫁はしていない。2015/10に10%にアップされることも勘案し，今年度増分の3%を価格に上乗せする。上乗せの方法と時期は，巻号の切り替わる2015年1月号からとし，旧価格に3%の税を上乗せして，定価（税込）1750円とする。ただし4月～3月の継続購読の場合は3月までは旧価格とし，4月から上乗せを行う。その他少額の出版物は事務経費を考慮し現行のままとする。
4. 2016国際地学オリンピック三重大会への協賛金の拠出について
現在年度協賛金として，30万円を拠出している。それを基に検討していくらの拠出が適当か？ 2015年度において事業準備引当金より拠出することについて9月理事会で議論する。
5. 鹿児島大会への学术交流協定締結国からの招待者に対する対応
・宿泊は代表者以外も含め学会が負担，ただし，同伴者については各自負担。懇親・各国1名に対し航空運賃+市内交通費（5,000円/3日間）を支給。
・国際賞受賞者（台湾）は宿泊を学会が負担し，航空運賃+市内交通費（5,000円/3日間）を支給。
・運賃はそれぞれの航空チケット購入価格に見合う日本円を支給する。

3. 広報部会：広報委員会（坂口・松田）

- ・鹿児島大会のプレスリリースを鹿児島で実施予定。
- ・「地質学者に聞いてみよう」の取り扱いについては，広報と常務理事が適宜対応する。
- ・英文ホームページの整備を早急に進める。特に年会関係の情報を至急掲載する。

4. 学術研究部会（ウォリス・竹内・中澤）

- (1) 行事委員会（竹内）
 - ・鹿児島大会準備状況報告。巡検申し込みは概ね好調。緊急展示あり。
 - ・2015年信州大会巡検コース案
 - ・2017年大会開催地：愛媛が立候補，理事会に諮る。
- (2) 国際交流委員会（ウォリス）
 - ・学术交流協定を結んだ学会の招待者：韓国2名，モンゴル1名，タイ1名，イギリス2名。
 - ・接待，懇談等の対応についてはウォリス理事，会長ら関係者で決める。
 - ・台湾の經濟部地質調査所から「日台技術協力地質学研修」として3名の方が参加する，急きょポスター発表を行っていただき，会長とも懇談の予定。お世話は一般財団法人日本国際協力センターが行っており，鹿児島には通訳が同行する。
- (3) JIS，標準担当（中澤）

5. 編集出版部会（山路・海野・保柳）

- (1) 地質学雑誌編集委員会（山路）
 - 1) 編集状況報告（8月27日現在）
 - ・2014年投稿論文 総数53編 [総説4（和文4）・論説27（和文27）・ノート1（和文1）・報告 6（和文5・英文1）・口絵6（和文4・英文2）・巡検案内9]
 - ・査読中 22編 受理済み5編（うち特集号5）
 - ・120巻8月号：論説2・ノート1・口絵1（約35頁，印刷中，9/1発送予定）
 - ・120巻9月号：総説1・論説2・口絵1（約37頁，入稿中）
 - (2) アイランドアーク編集委員会（海野）
 - ・編集状況報告
 - ・9月理事会で現在の状況をまとめて編集長の海野理事から報告してもらう。
 - (3) 企画出版委員会（保柳）
 - ・箱根たんけんマップの第2刷を2000部印刷。

6. 社会貢献部会（平田・杉田・廣木）

- ・秋季地質調査研修の共催依頼を産総研に提出した。
- ・第4回地質の日イベント（関東支部と応用地質学会）は平成27年5月10日（日）に等々力渓谷で実施予定。

7. ジオパーク支援委員会（天野・平田）

- ・8/28，日本ジオパーク委員会が開催され，以下のよう
に決定した。
- ・世界ジオパークネットワークへの新規加盟推薦2地域決定：アポイ岳，伊豆半島。
- ・日本ジオパークネットワークに新規加盟3地域決定，現在の加盟は36地域となった。
立山黒部（富山），南紀熊野（和歌山），天草（熊本）。

8. 地学オリンピック支援委員会（平田）
9. 連携事業委員会
10. 支部長連絡会議（渡部）
鹿児島で支部長会議を開催する。
11. 地質災害委員会（斎藤）
 - ・委員の更新作業中。9月理事会に案を提出予定。
 - ・広島市の土石流災害については、産総研ホームページをリンク。
12. 地質技術者教育委員会（山本）
 - ・CPDについて、大会と巡検参加者の希望者には年会会場で発行する。

2014年9月12日
一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長（代表理事） 井龍康文
署名人 執行理事 斎藤 眞